

新藤信夫市政ニュース

令和3年12月

Vol.33

さいたま市議会自由民主党
議員団大宮区西支部
TEL 647-7713
FAX 647-7726



平成30年11月税改正要望書等、自民党へ提出
左から村井英樹衆議院議員、岸田文雄総理大臣
(当時、政調会長)、新藤信夫

へご挨拶 新藤信夫

秋の気配がくつと深まり紅葉の季節となってきました。皆様には、お元氣にお過ごしのことと存じます。緊急事態宣言が解除されて1ヶ月以上経ちましたが、未だ経済活動に活発な動きが見えませんが、

かつて経験をしたことのないウイルス、新型コロナウイルスの恐ろしさ、命を脅かす生物の脅威は、正常な生活や経済をすっかり狂わせてしまいました。衆議院選挙が終わり、ここから岸田内閣とともに復興させて行くことになりましたが、相当な時間がかかるでしょう。我慢強い日本人の氣質を持つて大きな変化にも明るく対応し、乗り越えて行きましょう。

さて、新型コロナウイルスの発症は10月に入つて劇的に減少し、首都圏各都県の感染者数も1日50人以下に収まってきました。一方で、ワクチンの接

種率は上昇を続け国民全体の70%が、65才以上では90%を超える人が2回目のワクチン接種を終えています。これらの数字を見ればワクチンの効果がいかに大きいかがよく分かります。しかし、イギリスやロシアでは、ワクチンの接種率が高くても感染者が増加して余談を許さない状況が続いています。第6波が来るかどうかまだ分かりませんが、

来ることを前提に対応を整えておく必要があります。さいたま市でも第5波に襲われた今年の夏には、自宅療養中の方が亡くなったたり、救急搬送が間に合わないなどの支障を来しましたが、第6波への備えはしっかりと整えて行く方針です。

さて、令和3年はコロナ禍にあつて、行政において大きな進展はなかつたように思われていますが、大宮の都市再開発は、東口では大門2丁目中地区の再開発ビルの名称が「大宮門街(おおみやかどまち)」と決まり、来年春のオープンを待つばかりとなりました。西口でも第3-

B地区では、家屋の取り壊しが全て終わり、汚染土壌の処理も終わつて基礎工事に入っています。この地区の名称も「サクラスクエア」と決まりました。大宮グランドセントラルステーション化構想(大宮GCS)の一角を担う、この二つの事業が順調に進むことによつて、東日本の玄関口としての大宮は、確固たる地位を築いてゆくこととなります。私も住みよい街、進展する大宮を目指して、皆様のご意見をお聞きし活動を続けてまいります。

種率は上昇を続け国民全体の70%が、65才以上では90%を超える人が2回目のワクチン接種を終えています。これらの数字を見ればワクチンの効果がいかに大きいかがよく分かります。しかし、イギリスやロシアでは、ワクチンの接種率が高くても感染者が増加して余談を許さない状況が続いています。第6波が来るかどうかまだ分かりませんが、来ることを前提に対応を整えておく必要があります。さいたま市でも第5波に襲われた今年の夏には、自宅療養中の方が亡くなったたり、救急搬送が間に合わないなどの支障を来しましたが、第6波への備えはしっかりと整えて行く方針です。

令和2年度 会計決算

令和2年度の一般会計決算額は、歳入が7,163億7,800万円、歳出が7,039億800万円となり、歳入歳出差引額は+124億7,000万円となり、この内、令和3年度へ繰り越す金額46億8,000万円を差し引いた実質収支は77億9,000万円(黒字)となり、黒字額は昨年よりも60億4,100万円の増加となりました。

増減の主な理由としては、税制改正によって法人市民税は減額となったものの、個人市民税、固定資産税等が流入人口の増加に伴い増額となったこと、新型コロナウイルス対策として国からの支出金である特別定額給付金補助金、新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金、教育・保育給付費負担金等が増加したことによります。

決算の特徴

- ① 決算規模は、過去最大
- ② 実質収支は、77億90百万円で、連続して黒字を達成
- ③ 歳入は、国庫支出金が前年度比1,540億82百万円、160.8%の増
- ④ 歳出は、商工費・民生費が増加

大宮門街が来年春オープン

大宮駅東口大門2丁目中地区の市街地再開発事業として進められて来た、再開発ビルの名称がこの度「大宮門街」と決まりました。

1階の中央には吹き抜けの「門街広場」が設けられ、その両側の1~5階までが商業施設となり、名称は「門街EAST(カドマチイースト)」と「門街WEST(カドマチウエスト)」です。4~5階の一部には公共施設、そして6~9階には「さいたま市民会館おおみや」が移転します。愛称は「RaiBoC Hall(レイボックホール)」と決めました。客席数は、大ホールが1,400席、小ホールが340席と旧市民会館よりも少し広がります。10~18階の高層階には、大型オフィスフロア「大宮門街SQUARE」が誕生し、大宮のオフィス需要を

カバーすることになります。

平成29年度から始まった工事も終盤を迎えていて、来年(令和4年)春にオープンの予定です。

大宮駅東口では都市再開発がさらに予定されています。



旧大宮区役所側からの眺望

三橋4丁目公園(仮称)の設置

三橋4丁目には、マンションの開発によって作られた児童公園規模の公園があるだけで、都市公園はありませんでした。同町内には、中央に県立いずみ高校の西農場(8,780㎡)があり、高台で地盤も良く、出水の心配のない場所であることから、以前より地元自治会から災害時の避難場所として活用できないか要望が出されていました。

そんな中でこの土地が、平成28年に埼玉県から未利用地の売却処分地としての発表があり、県会議員も巻き込んで処分反対の運動が起こり、その結果、今回の公園設置に至りました。

約2,000㎡の用地を公園として整備し、残りの6,780㎡は上尾道路の整備によって、いずみ高校に隣接する農場が道路用地として買収され、農場用地が減少することから、引き続き、いずみ高校の農場として使用することが決まりました。そして、公園用地の県から市への譲渡も

終わり、防災用の貯水槽設置工事がすでに始まっています。

また、来年度行われる公園整備工事の説明会が今年11月6日(土)に三橋4丁目自治会館で行われ、工事の発注が明らかになりました。

長年の要望に応えるべく、地元の関係者の皆様と続けてきた活動が当公園の完成により実ることになります。



大宮駅西口喫煙場所の閉鎖

大宮駅周辺にはアルシェ前、DOMチャンスセンター前、東口交番前の3ヶ所に喫煙場所がありましたが、その内の西口2ヶ所が8月と9月に閉鎖となりました。アルシェ前は、以前から2階デッキ上まで煙が昇り迷惑しているとの声もあり、今年度から始まった西口デッキの補修工事で足場等仮設工事に支障が出るため、工事が終わる令和6年度末まで閉鎖となりました。また、DOMチャンスセンター前は、お客様の苦情に配慮しての閉鎖であることから、復活はないと考えられます。愛煙家の皆様には、屋外でタバコを吸える場所がなくなり、残念な思いをされていることと思いますが、健康はもちろん環境を考える上からも減煙は好ましいことと思いますので、ご理解ください。



大宮駅西口トイレ工事着工

大宮市時代から懸案となっていた西口トイレが20年の時を経て、着工の運びとなりました。場所は、旧ONライナー発着場付近のJR用地内20㎡を使い、みんなのトイレ、女子トイレ、男子トイレが設置されます。

現在、大宮駅が閉まる終電から始発までの約4時間は、駅構内や周辺商業施設には入れず、深夜でも使えるトイレは鐘塚公園内のトイレのみとなっていました。

令和4年4月1日が待望の西口トイレの開設予定日です。

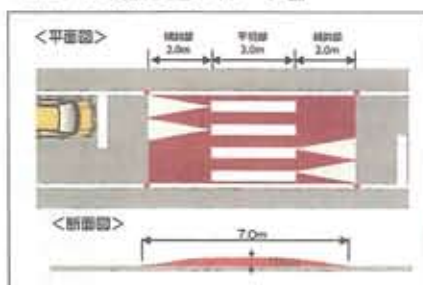
スムーズ横断歩道、ハンプの実証実験

三橋二丁目、四丁目地区の生活道路安全対策として、大宮国際事務所とさいたま市建設局土木部との協同で、9月17日～10月13日まで大宮国際中等教育学校の東側の道路においてスムーズ横断歩道、ハンプの実証実験が実施されました。

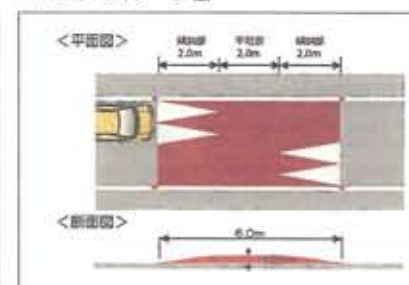
これらは、自動車の速度抑制や横断歩道の停止効率向上のために横断歩道部に設置する凸状の構造物で(右図参照)、自動車の速度制御を目的として道路上に設置するもので、多くの形状のものが考案されています。

この場所は「魔の交差点」と呼ばれる箇所を含む道路で、大宮国際中等教育学校の生徒も利用することから、埼玉大学の久保田 尚 教授(交通工学)のアドバイスを受けて考案されたものが設置され、車が30～40km/h以上で進入すると運転者は大きな衝撃を感じ減速して通過することから、

▼スムーズ横断歩道のイメージ図



▼ハンプのイメージ図



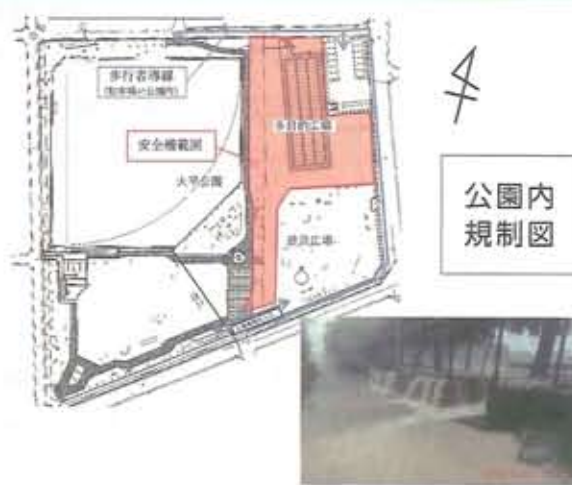
大きな効果が期待されました。アンケートでも、車で通行した人のほとんどがスピードを落として通行したと回答しており、期待通りの成果が得られたと思われます。

今後は、これらの結果を基に改良を重ね、数年後には必要箇所恒久的に設置して行くこととなります。

大平公園調整池工事の開始

大平公園は、昔話に出て来る大男ダイダラボッチの足跡と言われ、3方向を台地に囲われた底地で、降雨時には雨水が集中して流れ込む地形となっています。周辺の市街化が進んだ今日では、さらに雨水の流入量が増加しグラウンドが水浸しとなり、下流川側(北側)に流れ出し、公園北側の道路が冠水する状況になっていました。さらに、下流の水路は断面が小さく老朽化も進んでいて、頻繁に溢れ、隣接家屋が浸水するようになっていました。

さいたま市は、この状況を改善するため3年をかけて、公園内に地下調整池を設けるとともに、下流の水路を改修する工事を発注することとしました。工期は、令和3年10月から令和5年9月までの3年間で、その間、公園内の多目的広場や遊具広場(赤色の部分)が使えない期間が続きます。



北側道路の冠水